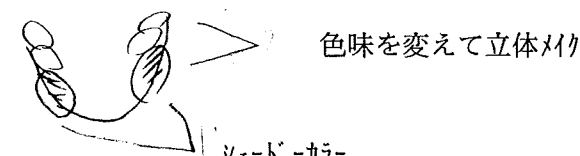
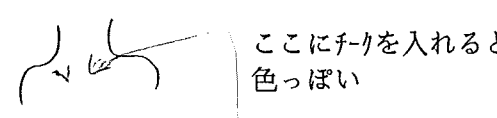




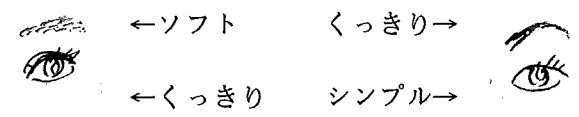








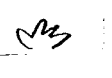

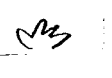

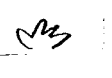

'98夏メイク実践内容と「こんなことしたい」実践度

◇'98.4. 初に収集した希望編 VS '98.9. に収集した実践編 比較

	中学生オピニオン	高校生オピニオン	大学生オピニオン
①肌色	<p>●'98夏は、露出度の高いキャミソール中心だったので、引き続きラメジェル(スパークリングジェル)が活躍している</p> <p>・ハートやスター型入りのものをアクセ感覚で使ったり、ジェルのベースカラーを楽しむものなど、ジェルそのものに香りつき(ぶどう、バニラなど甘く美味しい香り)のものもあり、特長に広がりがあるので。</p> <p>●スキンケア志向も高く肌へのいたわりも忘れない。UVカットやニキビ予防の為のケアは当然のこととし、関連アイテムも活性化している</p>	<p>今年の夏は「ラメ」は流行らないと感覚を持ち、あくまで「Natural」にが主流となった。</p> <p>自分の肌のコンディションを重視し、UVケアにも日焼けにも神経質にならず、やり過ぎた感がある。</p> <p>UVカット/基本はクリニック、シティブロックなどが体育の時にはSPF値の高いものを使用する美白オピニオンは、オートクリアなど新製品にも敏感!</p> <p>ファンデ選び/テカりを抑えるものや、ホワイトニング効果のあるものなどを選ぶ</p> <p>ブランド エルセリエ、資生堂ノーカラーファンデ、クリニック、レビューFILA(UVカット用)、マックス など</p> <p>実践度 Naturalがテーマなので、自然なイメージを演出するためにフェイスカラー感覚で、チークを使っている</p>	<p>自分でイメージした肌色づくりを様々な剤(ファンデ、パウダー、チーク)を使って作りあげる</p> <p>オピニオンはいろいろいる……多数のフェイスアイテムを使う</p> <p>日焼け肌派…肌色よりかなり濃い目を使う。もう1トーン明るい色と組み合わせ、ファッションとのコンビで肌色づくり</p> <p>白肌派……春先よりUVカット。高級感のある肌(マット)</p> <p>ベーシックカラー、ハイライトカラー、シャドウカラーで陰影をつけたり、チークで日焼けを演出したりする</p> <p></p> <p>実践度 オレンジ系、ブラウン系など「チーク」アイテムを活用。陰影をつけて、表情にメリハリのでるメイクが主流</p> <p>NEW ボディ(特に手足)にラメは'97年イメージなので控え目。かわってボディチーク的な使い方あり</p> <p></p>

	中学生オピニオン	高校生オピニオン	大学生オピニオン
②アイメイク	<p>夏なので、ファッションに合わせたカラーを使い分けるが基本メイク</p>  <p>←眉は自然にパカで ←セリ通りお肌とのハイライト マスカラはボリュームアップさせるが黒で!</p>	<p>●色っぽいゆかたメイクが成功</p>  <p>横にのばすようにマスカラを目尻にもっていき、眉下にはクリーム色のハイライト</p> <p>●パーリィラメはクセになる ・一担アクセントにラメをいだと、使わないとしまらない感じになり手放せない</p> <p>●●マスカラ重視 ・どんな多忙な時にもマスカラとたっぷりグロスで決まるカワイイ仕上がり…もちろん「黒」</p> <p>●イメージを決めてカラーを設定 ex. アジア系……………ピンク&レッド クール系……………パープル</p> <p>カラー ★★ブルーのグラデーション。やっぱり夏=ブルーははずせない</p>  <p>ブルー&パープルで立体感のある涼しい目元</p> <p>パープルで涼しげな目元をつくるハイライトはベージュ系</p> <p>アイテム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーミーシャドーは急いでいる時のハンドリングよし ・ブラウンは失敗なしでカラーに走った後に戻る…というわりかえし現象あり ・濃淡グラデが使いやすいイメージ。ハイライトカラーも加わった4色セットの人気は相変わらず 	<p>アイラインにウェイトをおいたメイクが主流となった。今年のまぶたは白っぽい明るいメイクが中心。</p> <p>●アイライナー+ハイライトのみの仕上げ</p>  <p>アイライナーの重ね塗り ブラック → ブルー</p> <p>●目のまわりの強弱で眉毛のラインを変える</p>  <p>←ソフト くっきり→ ←くっきり シンプル→</p> <p>'98年度共通のメイク</p>  <p>←下ライナーにわかるくらいホワイトを入れる。アイカラーと同系色のライナーをしっかりと入れる。 イエローのシャドーをぼかす、ハイライトをしっかりとなど 下まぶたにこだわり強し!</p> <p>カラー</p> <p>全般的に実践度が高く、淡いハイライトとソフトにまとめていく。ごてごてではなく、シンプルにスタンダードカラーでまとめている(濃青、茶、黒)色味にこだわり派オピニオンは、紫(淡/赤味系)も合わせていたが、マリンシーンではやはりブルー。</p>

	中学生オピニオン	高校生オピニオン	大学生オピニオン
③リップメイク	<p>基本的に忠実に、アイメイク、又はリップメイクどちらかにポイントを置く</p> <p>肌馴染みのよいベージュ系</p> <p>使い分け →</p> <ul style="list-style-type: none"> — ピンクベージュ — サーモンベージュ — ブラウン系 <p>明るいピンクやオレンジ アクセント、カバーカラーの「ホワイトパール」も欠かせない</p>	<p>●高校生の間で「クレージュ」は、つけやすさ、価格の手頃さで支持されている →つけている感じのないヌーディベージュ(しかしカバー力がありそう)が人気</p> <p>●●必ずグロスのをせて、年齢相応の仕上げにする ex. 暗っぽくなると大人っぽいのでグロスは必要!</p> <p>グロスはツヤタイプと、ラメタイプを使いわけるとグロスはNaturalにトーンチェンジする為にも欠かせない存在</p> <p>カラー 制服を考えるなど、ベージュ系から翔べない</p> <p>今年はおレンジ系 オレンジもピンクも肌馴染みよさそうなスモーキーカラーを選ぶ トーンは流行を考慮し、明るめ</p>	<p>グロス使い以外は、個人個人好みのメイクパターンで、大きな成長はない。 ※リップメイクは、'98夏メイクではNewな動きは特になし</p> <p>引き続き、つやつやたっぷりの透明グロスが活躍！ カラーを使わず、ライナー+グロスで仕上げる。 寒色系のグロスは涼感も演出できる。 金ラメのグロスは、遊び感覚で。</p> <p> 茶など濃色のライナー使い</p> <p>カラー 流行に左右されることなく、自分の世界でまとめる。 カラーオピニオンは、ピンク系+ホワイトで夏らしさを演出</p>

	中学生オピニオン	高校生オピニオン	大学生オピニオン				
④ネイル	<p>●ネイルはアクセ感覚で遊べるアイテムなので、ここぞとばかり活性。ブランドも色も豊富な品揃えで選ぶ楽しみもある。</p> <p>キャンメイクやターマなどのチークなブランドが中心だが、テストイモ、オーブなども持っている！</p> <p>ネイルアートシールを活用したり、1本1本の指に塗り分けたり…と</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>A子</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B子</p>  </div> </div> <p>今夏は、ボディのキラキラをきわだたせるためにも、肌なじみのよいV-ジェルを中心に時にはライトブルーなどハイライトカラーのみで楽しむ</p> <p style="text-align: center;">今年の夏はケルライトカラー+ラメやネイルアートボディもネイルもキラキラ…</p>	<p>●カラー重視の時はとくにかく価格がポイント 但し、塗りやすくなければ不可</p> <p>アレンジ ……ネイルアートはきき手にするのが難しい</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>リングストーン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ツートン</p> </div> </div> <p>ネイルアートがあきらめ派は、ラメ入りや カラー × 質感 (パール感、重ねぬり等) で勝負する</p> <p>カラー “夏”を意識して明るいパステルパール系 ピンク、オレンジ、グレー、パープル</p> <p>季節に関係なく、濃色(ネイビーや血豆色、ビビットなレッドなど)は、プレーンなツヤでいく ※ここでも カラー × 質感 で自分らしさを演出しようとする</p>	<p>●ナチュラル派と、ネイルアート頑張り派にわかれた。 しかし、いずれもナチュラルで爪先が浮かない色選び傾向にある</p> <p>ナチュラル派 肌なじみのよい異なるカラーで、ベディキュアとマニキュアのカラーバランスを楽しむ</p> <p>ex.</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>手 </td> <td>足 </td> </tr> <tr> <td>ヌードカラー ヌードカラー ピンク</td> <td>ホワイトパール ライトブルー パール</td> </tr> </table> <p>ネイルアート派 つけ爪などを使用するが、手法はシールやラメに依存。 マニキュアにラメの入ったタイプはそれだけで便利なアイテム。</p> <p>ごてごてにせず、好みのカラー+ホワイトでシンプルでまとめる</p>	手 	足 	ヌードカラー ヌードカラー ピンク	ホワイトパール ライトブルー パール
手 	足 						
ヌードカラー ヌードカラー ピンク	ホワイトパール ライトブルー パール						